

# 身体機能・認知機能に低下がない待機的大腸がん手術患者の 入院関連機能障害の現状と危険因子の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

近年、入院した病気に関わらず入院前の心身機能より退院時の心身機能が低下した状態である入院関連機能障害(hospitalization-associated disability;HAD)が注目されています。心身機能の低下を来すHADは自宅退院困難を招き、在院日数の延長、再入院率の増加、医療費増大などの弊害をもたらすとされています。超高齢化社会を迎えている本邦においてHADを防ぎ、早期回復・早期退院を目指すことは非常に大切です。

この研究の目的は、身体機能・認知機能に低下がない大腸がん予定手術を受けた患者さんのHADの現状、危険因子を検討することです。

本研究では診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2020年2月～2022年12月に当院でクリニカルパスに準じた大腸がん手術を受けられた方

## 使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、術式、術後合併症の有無、術後在院日数など。

使用開始予定日：2024年8月7日

## 研究予定期間

2024年8月7日～2025年2月15日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] リハビリテーション部 大崎敬之

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 大崎敬之

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)